

令和6年度(2024年度)札幌市環境局 脱炭素に関する補助金制度のご案内

※2024年10月末時点の情報を記載しています。
※詳しい内容(対象機器、条件、手続きの流れ等)については、各HPを御覧ください。

さっぽろ創世スクエアにおける電気・熱の脱炭素化

札幌市所有の札幌市民交流プラザが複合されているさっぽろ創世スクエアにおいて、2024年7月1日よりカーボンニュートラル天然ガスを用いて、創世スクエアエネルギーセンター(さっぽろ創世スクエア地下4階)の天然ガスコージェネレーションシステム(以下「CGS」という。)から建物内に電力を供給し、同時に発生した発電排熱やボイラーで建物内への冷温熱供給を行っています。また、CGSによる発電量では不足する電力は、非化石証書(再生可能エネルギー由来)を活用した電気によって補います。

この取組により、さっぽろ創世スクエアにて使用する全ての電力・熱のCO₂排出量が実質ゼロ化されました。



【図10】創世スクエアにおける供給スキーム

【本取組について】

カーボン・オフセットした熱供給を実施するのは「北海道初」となります。

【二酸化炭素削減効果】

年間CO₂約9,200t削減
(一般家庭約2,200世帯分相当)

省エネ診断

市有施設の効果的な運用改善を行うため、2023年度は一般財団法人省エネルギーセンターの「省エネ最適化診断」に申し込み、南区体育館での診断を実施しました。診断を通して、温度や照明などの設定値の適正化や、排熱等エネルギーロスの改善といった、普段の省エネの取組から一歩踏み込んだエネルギー管理に関するアドバイスをいただきました。

今後も、日常的な省エネや施設運用の見直しに取り組んでいきます。

グリーン購入の推進

札幌市では「札幌市グリーン購入ガイドライン」を定め、環境に配慮した物品や役務の調達に努めています。ガイドラインでは、紙類や文具類などの物品以外に、公共工事における資材や各種役務など200以上の項目について、グリーン購入の判断基準を定めています。

今後も継続してグリーン購入の推進に努めます。



https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/green.html

電力見える化

札幌市が排出するエネルギー起源の温室効果ガス排出量の8割を電気が占めており、電力消費量の削減が、市役所全体のエネルギー削減に大きく寄与することから、区役所や学校、スポーツ・文化施設などの市有施設、合計219施設に電力見える化機器^{※11}を設置し、節電に取り組んでいます。

※11 電力見える化機器とは、建物で使用する電力を測定してデータをモニターなどへ表示したり、計測した値から今後使う電力を予想し、あらかじめ設定した値を超えそうな場合に警報を鳴らしたりすることにより、電力使用状況を見える化する装置のこと。

太陽光パネルなどの設置

再エネ省エネ機器導入補助金制度

市民が市内の住宅に対象機器を導入する場合に、設置費用の一部を補助します。

【対象機器】
・太陽光発電:1万8千円/kW(上限12万5千円)
・定置用蓄電池:1万5千円/kWh(上限6万円)
・エネファーム:8万円・地中熱ヒートポンプ:20万円
・ペレットストーブ:5万円/台

【申込期間】※応募多数の場合抽選
第1回:2024年5月8日～7月10日
第2回:2024年9月2日～11月6日

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/kiki.html>

再エネ機器導入初期費用ゼロ事業補助金制度

市民が市内の住宅に、対象機器をリース契約又はPPA(電力購入契約)を用いて導入する場合にかかる費用の一部を補助します。

【対象機器】
・太陽光発電:1万8千円/kW(上限12万5千円)
・定置用蓄電池:1万5千円/kWh(上限6万円)

【申込期間】※先着順
2024年4月1日～2025年1月31日

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/zerohojo/zerohojo.html>

自家消費型太陽光発電設備導入補助金制度

社屋やビル、集合住宅などに自家消費型太陽光発電設備を設置する場合に、札幌市が企業等に対して、設置費用の一部を補助します。

【対象機器】
・太陽光発電:5万円/kW(上限245万円)
・定置用蓄電池:
工事費用の1/3(上限100万円)

【申込期間】※先着順
2024年8月1日～2025年1月31日

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/jikashohi.html>

熱源を灯油から 電気・ガスへ

省エネ機器エネルギー源転換補助金

灯油暖房・灯油給湯ボイラーから電気・ガスを熱源とする省エネ機器への切り替えにかかる費用の一部を補助します！

【対象機器】
・寒冷地エアコン(上限35万円)
・ヒートポンプ温水暖房(上限35万円)
・エコキュート(上限40万円)
・エコジョーズとコレム(上限45万円)

【申込終了】
令和6年度補助は予算額に達したため、募集を終了しました。

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/energytenkan.html>

ZEB・ZEHへ

ゼロエネルギー・ビル[ZEB]ゼロエネルギー・マンション[ZEH-M]設計補助金

ゼロエネルギー・ビル(ZEB)、ゼロエネルギー・マンション(ZEH-M)の建設に必要な設計費の上乗せ相当分を定額補助します！

【申込期間】
2024年4月1日～2025年1月31日
※先着順にて受付を行い、予算額に達し次第、募集を終了します。

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/hojo/zebzehm.html>

ゼロエミッション 自動車への買い替え

札幌市ゼロエミッション自動車購入等補助制度

走行中に二酸化炭素を排出しない電気自動車や、燃料電池自動車の購入等に対し補助をします。

【申込期間】
2024年4月22日～2025年2月28日
※申請額が受付予定額に達した段階で交付申請の受付を終了します。

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidouasya_kankyo/jisedai_hojo.html

さっぽろ 省エネ家電で家計を応援キャンペーンのアンケート結果

札幌市では、令和5年度に、気候変動対策として省エネ基準達成率100%以上を満たす対象製品(寒冷地エアコン、冷蔵庫、エコジョーズ)を登録店舗から購入された方に、最大5万円分のキャッシュレスポイントなどがもらえるキャンペーンを実施しました。

実際に寒冷地エアコンを購入した方にその省エネ効果や使用感などのアンケートをとった結果、積雪寒冷地である札幌においても灯油暖房から寒冷地エアコンへエネルギー源転換した場合、省エネ効果(光熱費の削減含む)があるだけでなく、寒冷地エアコンが冬の暖房として利用できるという声を多数いただきました。暖房や給湯において、灯油から電気またはガス化するエネルギー源転換では、CO₂排出量の削減に効果がありますので、本キャンペーンの結果を参考に今後のエネルギー源転換を促していきます。

